

ユージノール合成酵素

Cat. No. EXWM-0230

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 酵素は逆の方向に作用します。植物のオシナム・バジリカム（スイートバジル）、クラーキア・ブリューリ、ペチュニア・ハイブリダからの酵素は、コニフェリルアセテートのみを受け入れ、ユージノールを形成します。ピンピネラ・アニスム（アニス）からの酵素は、in vivo でアノール（4-クマリルアセテートから）を形成しますが、組換え酵素はコニフェリルアセテートからユージノールを形成することができます。ラレア・トリデンタタ（クリオソートブッシュ）からの酵素も、クマリルエステルからチャビコールを形成し、NADHを使用することができます。

別名 LtCES1; EGS1; EGS2

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.1.1.318

反応 ユージノール + カルボキシレート + NADP+ = コニフェリルエステル + NADPH + H+

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。